

旧役場庁舎の跡地利用に対するの想い



現在、使われなくなった旧役場庁舎や旧消防署は廃墟のようになっています。まずは少しでも早く解体作業に移るべきだと何度も議場で訴えてきました。現在は解体に向けて少しずつ準備がされていますが、設計に1年、解体にもそれなりの時間を要すとのこと。

跡地利用については庁舎内でも議論されているとのことですが、私は町民の皆さんや企業・団体の皆さんと議論をして、決めていくべきだと思っています。

- ・コスモホールや図書館の改修と共に整備する。
 - ・あいさい広場とも連携して、道の駅にする。
 - ・入浴施設や飲食施設が入った複合商業施設にする。
- など、多くの意見や考えがあります。

今現在も大切ですが10年後・20年後・30年後を見据えて、旧役場庁舎周辺が入善町全体でどんなエリアになっているべきかを考え、その上で必要な施設を選択するべきだと思います。

小中学校統合に対するの想い

出生数の減少により、今年度は入善小学校を除く全ての学校で全学年1クラスとなり、学校の小規模化が進んでおります。学校の小規模化には様々なメリット・デメリットがありますが、私は早く統合に対して結論を出すべきだろうと思っています。

私の考えは「入善町で中学校は1校、小学校は2校」です。中学校を1校とすることにより、部活動でのデメリットが多少なりとも解消されることになります。また中学生になれば精神的にも成熟してきており、この期間に生徒同士がより多くの人間関係を築くことで、その後の人生にプラスに働くものと考えます。また、小学校2校というのは、大規模校と小規模校とするということであり、選択制にすればそれぞれのメリットを生かせるのではないかと考えています。

ただ統合するとしても、新しい統合先や統合後の学校跡地のこと、スクールバスのことなど課題がたくさんあります。町や教育委員会や住民の皆さんと議論をしながら、少しでも早く統合に向けて進んでいければと思っています。



中瀬じゅんや の 行動方針

積極的に対話
スピーディに実行
ポジティブに検討

中瀬じゅんや 後援会事務所

住 所 〒939-0626 入善町入膳3234
電 話 (0765)74-0662
F A X (0765)74-2347
E-mail nakase@njunya.jp
公式HP <https://www.njunya.jp>



facebook



Webサイト

中瀬 淳哉 なかせ じゅんや

- ・1978年(昭和53年)3月13日
入善町入膳生まれ(現在47歳)
- ・入善小、入善中、魚津高等学校、
中央大学理工学部 卒業
- ・家業の電気工事屋に就職。
- ・富山県商工会青年部連合会 会長
入善町商工会副会長などを
しながら地域活性化に努める。
- ・その後町議会議員に立候補。
現在3期目。
- ・入善町議会副議長を務める

入善町議会議員

中瀬 じゅんや 政務活動報告

2021.10～

いっしょに変えよう! いっしょに進もう!
明るく元気な入善町に!

昨年、入善町は民間有識者がつくる「人口戦略会議」により消滅可能性自治体に分類されました。実際に、人口減少・少子化・高齢化により地域では役員のなり手不足に悩まされ、商店や事業者の減少により地域経済が衰退するなど、様々な課題に直面しています。それに加えて、物価の高騰が住民生活に追い打ちをかけている状況です。

私は行政の役割というのは、「民間の力・住民の力を後押しするもの」であり、民間の力ではどうしてもできない部分を行政が主となって行うものだと考えています。そう思ってこれまで3期12年の町議会議員活動をしてきました。

今後も皆さんと一緒にこの厳しい入善町の課題を解決しながら、「明るく元気な入善町!」を目指していきたいと思います。
よろしくお願いいたします。





4年間で行った主な代表・一般質問

中瀬じゅんやは『💡明るく元気な入善町に!』するため、町議会で多くのことを訴え、提案してきました。



💡入善町の基幹産業である農業を守る!

- ・適正な消費者価格と生産者価格との差を国が埋める差額保証などの農家の所得補償を町からも国に強く求めていくべきだ
- ・積極的に集約化と土地改良事業を進めていくべきだ
- ・種籾を転作作物にしてもらえるように強く要望していくべきだ
- ・日本政策金融公庫やJAからの融資に対して利子補給の要件を拡充してはどうか
- ・学校給食に地場産食材をもっと取り入れるべきだ



💡子どもたちの可能性を引出し伸ばすことができる教育環境の整備を!

- ・子どもの学力の現状と今後の課題は何か
- ・小中学校の再編について考えていく時期ではないか
- ・小中学校体育館に空調設備を設置すべきだ
- ・部活動の地域移行について、地域クラブへの移行の際の課題に対し町の協力姿勢を具体的に示すべきだ。また地元企業を積極的に巻き込んでいくべきだ。



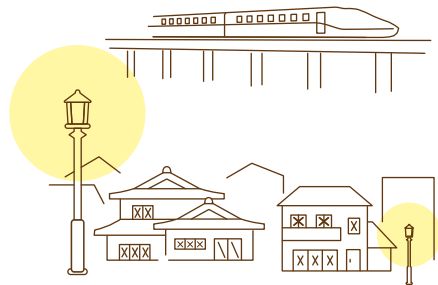
💡地域コミュニティを維持するために!

- ・自治公民館補助金の補助率と上限額を拡充すべきだ
- ・地域コミュニティのあり方に町が積極的に関わるべきだ
- ・コミュニティパートナーシップ協議会の事務局を会計年度任用職員とし、地区の運営に行政として協力すべきだ
- ・町民体育大会を見直すべきだ



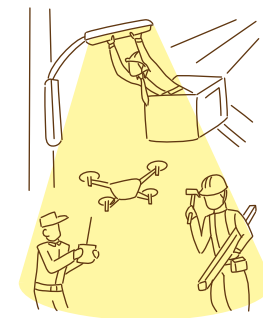
💡空き家対策・移住定住施策により地域の活力を取り戻そう!

- ・子育て支援と移住を結び付けて支援すべきだ
- ・Uターン施策を拡充すべきだ
- ・宅地購入者補助の限度額を引き上げるべきだ
- ・宅地を農地に戻すための支援を創設すべきだ
- ・空き家実態調査をすべきだ
- ・空き家活用の推進のため不動産業を営む事業者と連携すべきだ
- ・相続放棄による空き家に対して対応が必要だ



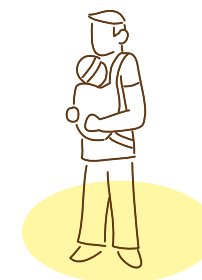
💡地域経済を支える中小・小規模事業者に活力を!

- ・町独自の中小・小規模事業者への補助金の創設すべきだ
- ・創業支援センターを設けるべきだ
- ・空き店舗や空き事務所を把握し、情報提供すべきだ
- ・事業所の従業員の健康診断に対して支援をすべきだ
- ・経営派遣アドバイザー制度の拡充をすべきだ
- ・入善町中小企業設備投資促進事業補助金の補助額を従来の5%に戻すべきだ
- ・土地購入補助など中心市街地における住宅施策を行うべきだ
- ・入善高校の観光ビジネスコースに町と商工会が授業の一環として積極的に関わるべきだ



💡安心して子どもを産み育てることができる環境整備を

- ・あわの産婦人科医院が存続していけるように支援を
- ・ファミリーサポートセンターを強化すべきだ
- ・イベントでのカップル数が多いが成婚に結び付いていない。課題に対しての解決を



💡誰もが健康で生きがいをもって暮らせるように!

- ・個人スポーツと健康寿命の延伸を結び付け、「歩く」ことや「筋トレ」を中心としたまちづくりを進めてはどうか
- ・体育館のトレーニングルームを拡張し、トレーニング機器を充実させるべきだ
- ・健康ポイント事業に歩数計アプリを使用し、活動した分だけジャンボ〜ル商品券に交換できるようにしてはどうか
- ・ウォーキングしやすい場所を増やすべきであり、水の小径を改修し、また中央公園の外周を夜間でも使えるウォーキングゾーンにすべきだ



💡町の魅力を向上させるために

- ・旧役場庁舎の跡地利用をどのように考えていくのか
- ・旧役場庁舎と旧消防署の解体を早急にすべきだ
- ・旧東部・西部保育所の跡地利用をどうするのか
- ・入善町ポイントアプリを導入してはどうか

中瀬じゅんやの
政策・活動報告は・・・
まだまだあります!



Webサイト